

学校法人佐久学園



佐久の薰風

No. 4

2016(平成28)年5月31日発行

発行人 学校法人佐久学園

編集人 学園通信編集委員会

<http://www.saku.ac.jp/>

CONTENTS

- 佐久学園が目指すもの … 2・3
- 講座・講演会報告 … 4
- 卒業生・修了生・退職者紹介 … 4
- 新任教員・新入生紹介 … 5
- Voice of Graduates … 5
- キャンバストピックス … 6・7
- 平成28年度講座・研修等のお知らせ … 7
- 佐久学園から … 8



目指すもの

小さな大学、大きな目標

佐久学園

理事長 盛岡 正博



の呼びかけで、佐久市・佐久総合病院・浅間総合病院と佐久大学の四者で「保健・医療のつばさ事業」の協定を結びました。大学内には「(仮)アジア人材育成センター」の準備室を発足させました。国内外の大学と協力して、人財及び教育研究の交流を推進したいと思っています。早速、5月にはベトナムから看護学研究の大学院生を受け入れました。各国の大学から留学希望が届いていますが、受け入れ体制を整えながら進めていきたいと思っています。

少子高齢社会は東アジア共通

草創期から発展段階へ

佐久学園は、信州短期大学を基礎に佐久大学が創設されて9年目、新しい段階に来ていると思います。開設当初から教授会の先頭に立つて来られた竹尾恵子先生が勇退され名誉学長に就任、堀内ふき学長の新体制が発足しました。大学の役割は、人財の育成・学問研究・社会貢献と云えます。全国の看護師養成機関は大学及び学部が251を越え、看護専門学校が520余りです。先人たちの努力により地域医療の先進地となった佐久市にある当大学は、学ぶ上でとても恵まれた環境にあります。近年、アジア諸国から視察研修に訪れる人も多くなりました。市長

9年目を迎えた佐久大学



佐久大学
学長 堀内 ふき

佐久大学は、今年で開学から9年目を迎えました。500名余の卒業生・修了生を送り出しています。皆大学での学びを実践に生かし、社会で活躍してくれています。

建学の精神は、「知」「徳」「愛」です。学生には、真理を探究し、人々から慕われる人になり、他者への思いやりをもち、想像力をもってその人の痛みや気持ちを感じ、社会に貢献できるような力を身に付けてもらいたいと願っています。

そして、この佐久の地で学ぶということは、健康長寿・地域医療の先進地域で学ぶということです。地域の人々に支えられ、佐久大学がこの地にできたことを地域でも活用してもらいたいと願っています。互いに交流しながら学生の力を信じ、共に育っていききたいと思えます。また、今後我が国と同じように少子高齢化への対応が重要課題のアジア諸国と交流を進め、老年看護・認知症ケアについての学びを共有し、学生が広い視野で、世界に羽ばたく看護専門職となることを期待しています。

超高齢未来のための人材育成を



信州短期大学部
学長 白井 汪芳

信州短期大学部介護福祉学科は、医療・福祉現場において重要な役割を担う介護福祉士の養成を目的に平成18年に設置し、県内外の病院・福祉施設に多くの有為な人材を輩出してきました。

しかし、わが国は今、超少子高齢化現象による新しいパラダイムの社会の到来が予想され、福祉分野においても医療・介護・福祉領域にとどまらない広い学問分野との学際的アプローチによる有機的な連携・協働による新しい福祉・介護学が必要とされています。

そこで、本学では時代を先取りし、介護福祉学科を「福祉ケア」と「福祉ビジネス」の2コースからなる「福祉学科」に名称変更しました。幅広い教養、高度な専門知識と技術をもつ福祉マイナンドを備えた専門職は、超高齢未来のエキスパートとして、社会のあらゆる分野で活躍する時代が来るものと思われれます。

また、すでに施設で働く人のキャリアアップや、福祉分野への転職を考えている人へのバックアップにも力を入れていきます。

佐久学園が

大学院の将来を見据えて



看護学研究科長
松下 由美子

看護学研究科は開設5年目を迎え、7名の修了生を送り出しました。在学生は16名となり、仕事と両立させながら日々勉学に励んでいます。大学院の基礎は固まってきましたので、今後は大学の中長期計画の1つ、「高度実践看護師の養成」に取り組みたいと考えています。佐久地域のニーズに沿った優秀な看護人材の養成を、関係者の協力を得つつ進めて参ります。

変化と発展の予感の中で



看護学部長
坂江 千寿子

浅間山の麓で朝早くから活動する人々への看護、そして地球上のどの文化圏にも共通する普遍的な看護。激変期にある日本の看護界ですが、本学には重要な両者を学ぶ環境が整っています。大学生としての真摯な学び、裾の広い豊かな知識と経験、培われる誠実さと確実さが、将

来、現場を変える力をもった看護の専門職者として花開く、と信じて微力を尽します。

別科助産専攻の今



別科長
清水 久美子

安心して出産子育てが難しくなっている今、助産師は社会に求められている専門職です。産科医不足の中、妊産婦のニーズの多様化・複雑化に対応できる助産師教育に力を入れています。助産師外来や院内助産にも対応できる助産師としての学びを進めています。幸いな事に別科助産専攻は助産学実習施設に恵まれ地域で学生を育てて頂き感謝しております。

情報の拠点となる図書館に



図書館長
細谷 たき子

佐久大学の長期目標には、図書館の機能として、保健・医療・福祉に関する情報センターを目指すことがあります。学生のアクティブラーニングの支援、および教職員の教育・研究への情報支援を第一義とし、地

域の看護職・福祉職の方々への研究支援も継続的に実施する方針です。文献検索の環境が昨年度より充実され、皆様の利用を待っています。

効果的な情報の活用を推進

IR室長 堀内 ふき

佐久学園にはIR室が設置され、IR委員会を組織しています。種々の委員会や部署等からの情報を、大学の使命や目標に照らし合せて収集・蓄積・管理し、教育・研究・社会貢献・運営などに活用していきます。縦断的に繋がったデータを意図的に分析し、学生のより良い教育ができるよう生かし、さらには教育・研究活動、地域への貢献、学校運営に活かします。

多様なつながりを大事に

地域連携推進センター長 堀内 ふき

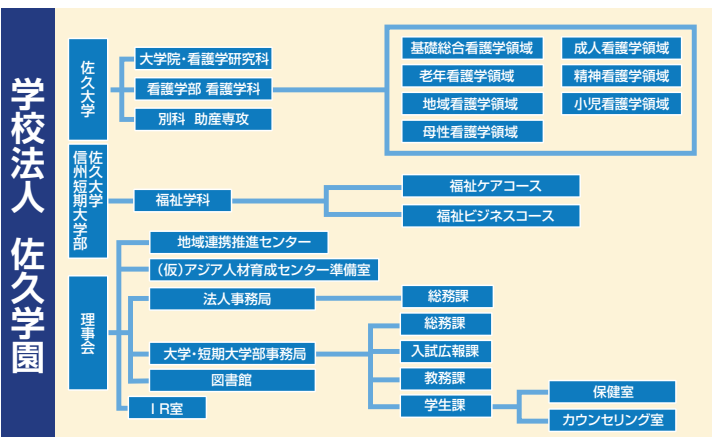
産学官連携事業をはじめ、高校や保健福祉関連団体、さらには海外の大学とも連携し、佐久地域の祭りへの参加、足と健康に関する相談事業、公開講座の開催、タイやベトナム等への研修事業など、広く地域と繋がっています。今後さらに地域や海外との連携が進むと思いますが、佐久の地にある特徴を活かし、人々の支援を受けながら、進めていきます。

キャンパスライフを支える



事務局長
斎藤 和幸

大学時代は人生の中でも最も輝かしく、社会に一步を踏み出すための貴重な時間です。事務局スタッフは、学生の大事な学びの時間に関わり、あらゆる支援ができることに喜びとやりがいを感じます。学生支援と教育・研究環境の向上、地域社会への貢献を目標に、スタッフは個々のスキルを高め、ブランド力のある大学づくりを目指しています。



学校法人 佐久学園

講座・講演会報告

佐久大学および信州短期大学部では、下記の講座・講演会を開催し、多くの方にご参加いただきました。

- 2015佐久大学公開講座 賢い患者になるための「患者学」 全6回
- 佐久大学信州短期大学部「認知症の予防・ケア」公開講演会 全5回
- 佐久大学信州短期大学部 平成27年度介護公開講座 全5回



本学 橋本佳美教授による「小さい子どもの日常と受診」。お子さんの体調管理の注意点や遊びについて、会場からの質問がありました。



柳田邦男氏の講演「元気が出る患者学」には県内外から300名近くの参加がありました。講演後にはサイン会も行い大盛況となりました。



「賢い患者になるための地域支援 専門職と住民の立場から」と題し、佐久地域の保健師、ケアマネージャー、市民の方によるシンポジウムを行いました。



身体教育医学研究所 岡田真平所長による「認知症予防と身体活動・運動」では、参加者の皆さんがステップと計算を組み合わせたコグニサイズに挑戦しました。



「持ち上げない移乗・移動の介護技術」では、リフト・スライディングシート等を使って介助方法を体験しました。



青梅慶友病院看護介護開発室長 桑田美代子氏による講演。五感を生かし、身体を活かして豊かに老いるというお話をいただきました。

卒業生・修了生

学生生活を振り返って



看護学部
田中 優香

振り返れば4年という月日はあっという間でした。雪の舞う中の入学式や患者さんの優しい笑顔に励まされたこと、学友達と共に過ごした日々が鮮やかに思い出されます。上手く行かない時は仲間や先生方の助けを借りて乗り越える事が出来ました。この学び舎での経験を胸に心の通う看護を目指していきたいと思えます。



大学院看護学研究科
大河原 あゆみ

看護職として実践の場で抱いた疑問を解決すべく、在職のまま就学可能な長期履修制度を活用し、3年間かけて学びました。課題のまとめやプレゼンテーションの準備、修士論文など大変でしたが先生方のきめ細やかな指導により一歩ずつ進んでいくことができ、自分の成長を感じ充実した日々でした。



短期大学部
江本 大徳

短大生活は、あっという間に過ぎ去ってしまいました。共に介護を学んだ同級生や、先生方、実習施設の方々、佐久大学の学生…。2年間での出会いや経験は、私にとって大きな財産となりました。これからは皆様へいただいた情熱や愛情をもって、福祉分野のエキスパートになれるよう努力していきたいです。お元気で！



別科助産専攻
堀ノ内 仁美

入学してからあまりの多忙さに助産師を目指した事を悩んだ時もありましたが、沢山の人の心の暖かさに支えられ、卒業を迎える事ができました。ここに来なければ出逢う事の出来なかつた仲間、先生方、実習先の方々、全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。この感謝を素敵な助産師になって沢山の人の運に返して行きたいです。

退職者紹介 — 佐久学園での教育にご尽力いただきました。ありがとうございました。

佐久大学学長 竹尾 恵子

在職期間:平成20年4月～平成28年3月

看護学部 助教 酒井 綾子

在職期間:平成24年4月～平成28年3月

佐久大学副学長/図書館長/地域連携推進センター長 宮地 文子

在職期間:平成21年4月～平成28年3月

看護学部 助手 中澤 淑子

在職期間:平成25年4月～平成28年3月

大学院/看護学部 教授 大淵 律子

在職期間:平成23年4月～平成28年3月

新任教員紹介 佐久大学に新しく着任された先生方です。

①担当領域 ②出身地 ③出身校
④趣味 ⑤自己PR

大学院／別科助産専攻
教授
柴田 真理子



- ①母性看護学・助産
- ②秋田県
- ③順天堂大学スポーツ健康科学研究科博士前期課程修了
- ④ポップスを皆で歌うこと（唄った気になること）
- ⑤助産師稼業にどっぷり浸かって30年余になります。自己の持ち物は古くなってきております。佐久での一期一会、若い方々の教えを得て、少しでも貢献していけたらと思っております。

看護学部
助手
高木 琴代



- ①基礎総合看護学
- ②長野県
- ③日本赤十字武蔵野女子短期大学専攻科
- ④歌を歌うこと（合唱、カラオケ等）
- ⑤ Global な視点で看護を考えるとどのようなことなのか。学生と共に考え、学んでゆきたいと思ひます。佐久大学の Being with を佐久から日本へ、そして、世界へ広めていきたいと思います。

看護学部
助手
大和田 由希



- ①老年看護学
- ②長野県
- ③佐久大学看護学部看護学科
- ④ドライブ・旅行・食べること！
- ⑤佐久大学看護学部看護学科2期生として卒業し、戻ってきました。臨床経験が少なく不安もありますが、学生のみなさんと共に成長しながら、看護の楽しさややりがいを伝えていきたいと思います。

新入生

大学生生活を始めるにあたって



看護学部
高橋 真結喜

生まれ育ったこの佐久の地で、地域医療に貢献することを目指し、佐久大学に入学しました。看護に関する専門的な知識を学ぶ授業も始まり、日々悪戦苦闘しています。そんな日々の中、初めてのアルバイトや新しい友人との関係を楽しみながら、勉学との両立を目指し、充実した日々を過ごしていきたいです。

大学院では、今まで看護師として経験したことや知識を振り返り、より深く探求することを行うっています。先生や仲間たちとディスカッションをすることで、新たな気付きや刺激がたくさんあり、毎日がとても充実しています。今後は、自分の疑問を明らかにできるように励んでいきたいと思っています。



大学院看護学研究科
塩入 とも子

初めて地元である佐渡島を離れ、一人暮らしをしながら大学生を送っています。私は母子だけではなく、その家族やこれからの未来を担う子どもたちにも寄り添える助産師を目指しています。一年間という短い期間ですが、一つひとつの学びを大切に同じ夢をもつ仲間とともに成長していきたいです。



信州短期大学部
山西 凌介

入学して1カ月、だいぶ大学にも慣れてきました。現場で活躍できる介護福祉士になれるように、講義や実習を通してしっかりと知識と技術を身につけたいと思います。そのために、自分の中で理解が深まるまで自主学習などしていきたいです。また、大学の様々な活動にも参加し、学生生活を楽しくしたいと思っています。

初めて地元である佐渡島を離れ、一人暮らしをしながら大学生を送っています。私は母子だけではなく、その家族やこれからの未来を担う子どもたちにも寄り添える助産師を目指しています。一年間という短い期間ですが、一つひとつの学びを大切に同じ夢をもつ仲間とともに成長していきたいです。



別科助産専攻
佐々木 まこも

Voice of Graduates 卒業生の声 No.2



小諸市役所 勤務

阿部 達彦さん

信州短期大学
ライフマネジメント学科
介護福祉専攻
平成19年度卒業

A1 Q1 卒業してから現在

新潟県の出身ですが、短大卒業後は小諸市の介護老人保健施設ののめ里に就職して介護福祉士として働き、経験を積みました。

市のケースワーカーとして働く短大時代の同期に触発され、昨年、小諸市の採用試験を受けました。今年4月から市の職員として働いています。

A2 Q2 現在の仕事内容

現在は上水道課で、市内を点検して回る仕事をしています。ゆくゆくは福祉課などで働きたいと思っています。

A3 Q3 仕事の中で大変なこと

地元の人間ではないので、地理に精通しておらず苦勞しています。

A4 Q4 短大生活の思い出

今でも深い付き合いができている一生の友人と出会ったことが一番の思い出です。

A5 Q5 短大で学んで役に立っていること

短大時代に身につけた、目上の人とのつきあい方やマナーは今も役に立っています。

A6 Q6 学生にアドバイス

集中すべき時は集中して取り組むこと。友人と仲良くして学生生活を楽しむこと。

A7 Q7 今後の目標

家族のために一家の大黒柱になること。そして市民のために役に立つことです。

1/29 介護公開講座

「物忘れ相談プログラム」の活用を通して認知症の予防を考える講座を、本学の矢野田明美教授が行いました。



1/30 台湾介護研修プログラム

信州短期大学部では、1/23-1/30の間、台湾介護研修生の受入プログラムを実施しました。



1/31 人権・男女共生フェスティバル

佐久大学を会場に、蓮池薫氏の講演会が行われました。本学学生もスタッフとして多数参加しました。



2/6 「認知症の予防・ケア」公開講演会

公開講演会最終回は、NHKディレクター川村雄次氏による講演「認知症予防再考」でした。大勢の方にご参加いただきました。



2/10 国試激励会

看護師・保健師国家試験を前に激励会を行いました。



12/14 クリスマスパティー

看護学部と短期大学部の学生がクリスマスパーティを行いました。



12/19 事例研究発表会

短期大学部2年生が、介護計画の立案過程や実践、課題等、2年間の実習の成果をまとめ発表しました。



12/24 高齢者看護ケア教育国際セミナー

12月7日から13日にかけて佐久大学から3人の教員がタイとベトナムに向向き、看護教員及び臨床で看護学生の教育に携わっている方を対象に老年看護学教育に関するセミナーを開催しました。



1/20 足育サポートセンターに県知事訪問

阿部長野県知事が佐久大学内の足育サポートセンターを視察されました。



1/26 佐久大学公開講座

「賢い患者になるための患者学」というテーマで行った全6回の公開講座が終了しました。



10/17 健康づくり佐久市民のつどい

第11回健康づくり佐久市民のつどいが佐久平交流センターで開催され、看護学部1~4年生の6名が参加しました。



11/9 立誓式

短期大学部1年生が初めての介護実習を前に立誓式を行いました。



11/17 議会と語ろう会

佐久市議会議員と本学学生が意見交換会を行いました。



11/23 エイズデー

学生サークルさくびあが、イオンモール佐久平のエイズデーイベントに参加しました。



11/25 「高齢者看護ケア教育モジュールの開発」研修

11/10-11/25の2週間、看護大学の教員を対象とする標記の研修を、タイ、ベトナムの5つの大学から一人ずつ、5人の教員を招聘して実施しました。



12/4 看護学研究発表会

看護学部4年生97名が看護学研究の発表を行いました。



3/29 保健・医療のつばさ事業に係る覚書を締結

JA長野厚生連佐久総合病院、佐久市立浅間総合病院、佐久市と、佐久市または佐久地域における保健・医療などの現状並びに取り組みに関する海外からの視察研修の受入れについて、「保健・医療のつばさ事業」に係る覚書を締結しました。



4/4 4/5 入学式

4/4(月)短期大学部福祉学科、4/5(火)大学院看護学研究科・看護学部看護学科・別科助産専攻の入学式を行いました。



4/8 学部靴測定

今年度から、より足に合った実習靴を作製するため、新入生一人ひとり足のサイズを測定しました。



3/15 3/19 卒業式・修了式

3/15(火)短期大学部介護福祉学科、3/19(土)大学院看護学研究科・看護学部看護学科・別科助産専攻の卒業式・修了式を行いました。



卒業パーティー



3/19 修了生を祝う会



2/15 佐久平総合技術高校との連携協定

佐久平総合技術高等学校と佐久大学信州短期大学部の間で「佐久平の明日を創る人材育成のための高大連携協定」が締結され調印式を行いました。



2/21 修論発表会 今年度修了する大学院生が修士論文の発表を行いました。



3/11 学術・交流協定

佐久大学は、2014年度から、ホーチミン市にある3つの大学(私立 Hong Bang国際大学看護学部、私立 Pham Ngoc Thac 医科大学看護学・医療技術部)、市立 Pham Ngoc Thac 医科大学看護学(医療技術部)の看護教員らと共同研究を行ってまいりましたが、このほどホーチミン市立 Pham Ngoc Thac 医科大学と「学術・交流協定」を結びました。



平成28年度 講座・研修等のお知らせ

教員免許状更新講習

下記の日程で実施いたします。
詳細および募集要項・申込書は本学ホームページでご確認ください。
申込期間:5月16日(月)~7月15日(金)
申込方法:郵送(先着順)

佐久大学喀痰吸引等研修

下記の日程にて実施する予定です。
詳細は募集開始後に本学および長野県のホームページに掲載いたします。
募集期間:7月1日(金)~7月15日(金)
研修期間:基本研修 8月9日(火)~31日(水)

臨地実習指導者研修セミナー

8月8日(月)~10日(水)開催します。
詳細は本学ホームページでご確認ください。

生涯大学校講座

始めよう中国語 [中級] / 6月7日(火)~全15回
シニアのための「はじめてのパソコン」[第1期] / 6月6日(月)~全6回
パソコンを使った 調査・分析のいろは / 6月14日(火)~全6回
詳細およびその他の講座については本学ホームページでご確認ください。

賢い患者になるための「患者学」

- 公開講座 13:30~15:30
 - がんの病児と共に生きる家族(仮) 10月22日(土)
 - 認知症を乗り切るユーモア(仮) 12月18日(日)
 - ミニ公開講座 10:30~11:30
 - 足の健康:自分のできる足のトリートメント 7月15日(金)
 - がんと診断されたときには 8月 5日(金)
 - がんになっても仕事を続けるには 8月26日(金)
 - 子どもの病気を予防するコツ 9月16日(金)
 - 子育ての仲間 10月14日(金)
 - 住まいと転倒予防 11月18日(金)
 - 住まいと転倒予防 1月20日(金)
- 詳細は本学ホームページでご確認ください。

第5回信州介護学研究会(介護環境改善研究会)

住み慣れた地域で自分らしく暮らせるために
8月28日(日)10:00~16:30
基調講演 / 座談会 / 施設発表 / シンポジウム
詳細は本学ホームページでご確認ください。

お知らせ

第三者評価適格認定



信州短期大学部では、平成27年度に文部科学大臣が認証する(財)短期大学基準協会による第三者評価を受け、同協会が定める短期大学評価基準を満たしているとして、平成28年3月10日付で「適格」と認められました。

保健室から

毎年4月には、全学生と教職員の健康診断を行います。保健室は、その結果により食事や運動、生活に関する保健指導を行う役割を担っています。日々、風邪や発熱、お腹が痛い、怪我をした、と訪れる学生の対応はもちろん、各種予防接種等も担当します。また、慣れない一人暮らしや食生活、アルバイト、友人関係、学習、実習に関する悩み等の相談に応じることも重要な役割です。「保健室だより」を教職員向けに発行し、健康に関する情報発信も行なっています。今後も、健康管理に関して、少しでも役立てるよう努力していきます。

平成27年度進路一覧

看護学部看護学科

(順不同)

【就職】 小諸厚生総合病院/長野松代総合病院/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/佐久総合病院/下伊那厚生病院/篠ノ井総合病院/北信総合病院/北アルプス医療センターあづみ病院/安曇野赤十字病院/信州上田医療センター/小諸高原病院/信州大学医学部附属病院/相澤病院/まつもと医療センター/くろさわ病院/長野中央病院/上伊那生協病院/長野県立須坂病院/長野市民病院/佐久市立国保浅間総合病院/飯田市立病院/岡谷市民病院/飯山赤十字病院/諏訪赤十字病院/雨宮病院/山梨大学医学部附属病院/東海大学医学部附属病院/国立がん研究センター中央病院/八王子山王病院/板橋中央総合病院/武蔵野赤十字病院/明理会中央総合病院/国立精神・神経医療研究センター/新潟市民病院/長岡赤十字病院/津南町立津南病院/兵庫医科大学病院/静岡県立静岡がんセンター/久美愛厚生病院/中津川市民病院/愛知県がんセンター中央病院/黒部市民病院/富山県高志リハビリテーション病院/イムス富士見総合病院/山形村役場/魚津市役所

【進学】 佐久大学別科助産専攻

別科助産専攻

【就職】 長野赤十字病院/埼玉医科大学病院総合医療センター/信州上田医療センター/篠ノ井総合病院/北信総合病院/長野中央病院/伊那中央病院/千葉大学医学部附属病院/信州大学医学部附属病院/長岡中央総合病院/長野県立須坂病院

信州短期大学部介護福祉学科

【就職】 シルバーランドみつい・さしの/佐久愛の郷/いこい/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/エフビー介護サービス/北アルプス医療センターあづみ病院/こまくさ/ローマンうえだ/のべやま/恵仁会/こころ/御代田町社会福祉協議会/はあーと工房ぼっぼ/佐久療護園/望月悠玄福祉会/ナガサカ/ベルポートまるこ/しののめの里/グリーンヒルプロダクツ/らくえん/浅間鋼機/自営(起業)

【進学】 長野大学

今年度より本学は新しい体制となり、多くの方より寄稿をいただき、本学の「今」を発信する情報誌として第4号を発刊することができました。

来年度で短期大学部は30年、大学は10年目を迎えます。これからも地域社会の期待に応えるとともに、本学の教育理念をより多くの方に発信できる媒体となるよう励んでまいります。(桶)



平成27年度補助金採択状況

項目	補助額
日本私立学校振興・共済事業団	
平成27年度私立大学等経常費補助金	183,227千円
特別補助「未来経営戦略推進経費」(継続)	
「私立大学等改革総合支援事業 タイプ1教育の質的転換」	
「私立大学等経営強化集中支援事業」	
文部科学省	
平成27年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金	
【ラーニング commons 整備】	3,057千円
平成26年度私立学校施設整備費補助金(ICT活用推進事業)	
【無線LAN環境構築】	6,865千円
長野県	
地域発元気づくり支援金	1,504千円
平成27年度大学・地域連携事業補助金	1,700千円

平成28年度後援会総会について

佐久大学信州短期大学部 4/4 (月)、佐久大学 4/5 (火) に定期総会を開催しました。下記議案について承認されました。

平成27年度事業報告及び収支決算報告
平成28年度事業計画及び収支予算 平成28年度役員選任

■平成28年度 役員 ※1年次役員は後日決定

佐久大学後援会

会長/飯島久幸、副会長/針山栄司

理事/大井芳知、荻原美喜子 監事/白石順一、清水幸子

佐久大学信州短期大学部後援会

会長/原 明美 副会長/菊原克子

平成27年度 国家試験受験状況

(新卒者)	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
第105回看護師	97名	91名	93.8%	94.9%
第102回保健師	25名	24名	*96.0%	92.6%
第99回助産師	13名	13名	100.0%	99.8%

※保健師科目選択者のみ

2016オープンキャンパス

詳細は本学ホームページでご案内しています。

■佐久大学・佐久大学信州短期大学部 同時開催
6月25日(土)、8月6日(土)、8月27日(土)
11:00~16:00

全体説明会/ランチ体験/キャンパスツアー/看護・介護体験/在学生との懇談/模擬授業など

※大学院・別科助産専攻の進学相談も同時開催します。

■佐久大学信州短期大学部のみ開催
5月28日(土)、7月16日(土)、9月24日(土)
9:00~12:00

